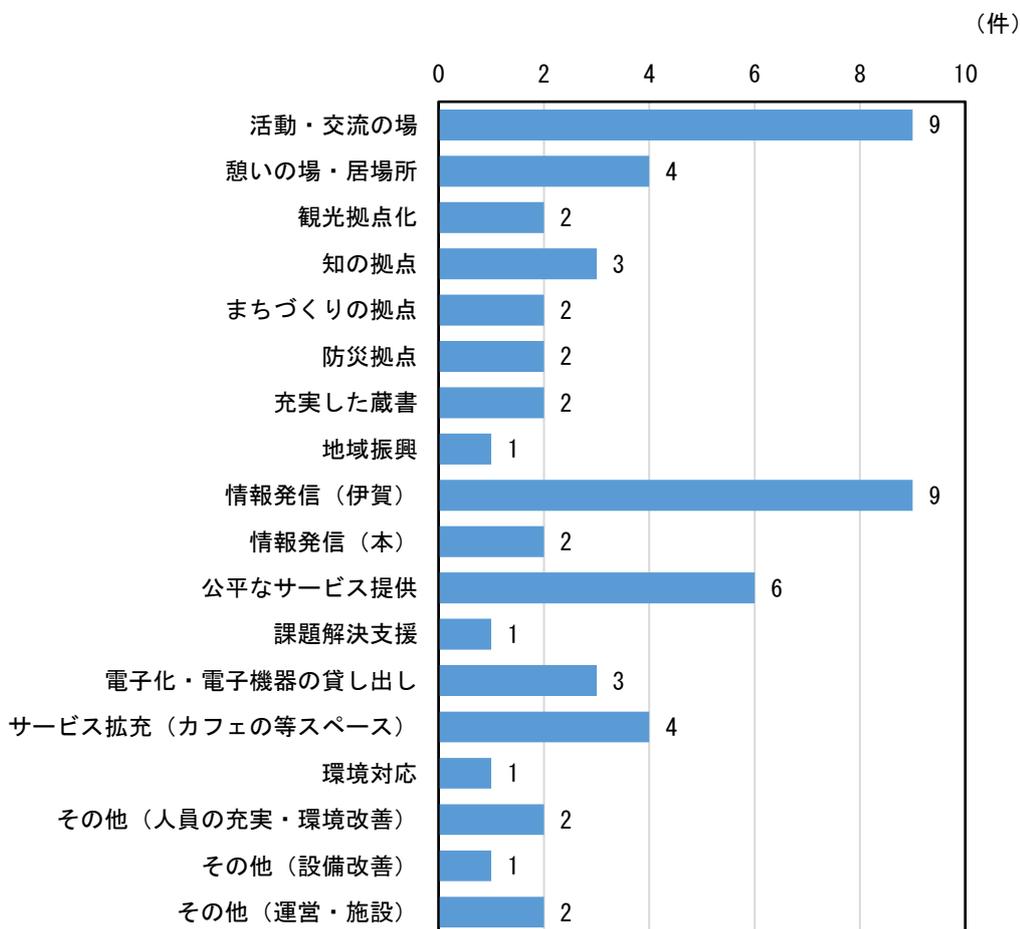


回収件数：22 件

■主な意見

Q1. 第2回のワークショップで話し合った、新しい図書館のサービス、機能、役割について、再度お考えを教えてください。

⇒最も多いのは市民の「活動や交流の場」としたいという意見（9件）と芭蕉や組紐などの伊賀市の魅力の「情報発信」をしたいという意見（9件）であり、次いで重要視されているのは、図書館のない地域に移動図書館などにより「公平なサービス提供」をしてもらいたいという意見（8件）であった。

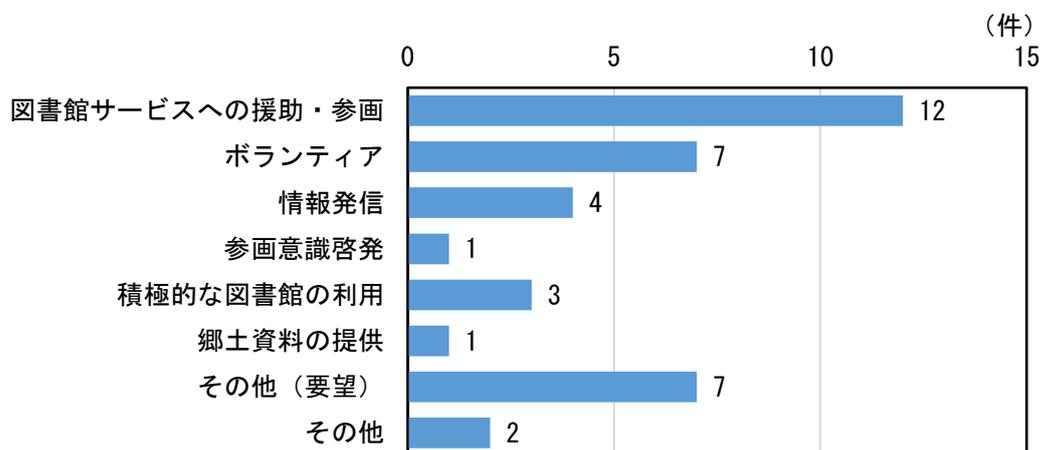


(合計 56 件)

Q2. 自分ならどのように新しい図書館のサービス、機能、役割に関わることができるでしょうか。

お考えを教えてください。

⇒自ら図書館のサービスの在り方に関する企画や対応に参画していく意向を持つ「図書館サービスへの援助・参画」の意見が最も多く（12件）、次いで、読み聞かせなどの「ボランティア」を行うという意見（7件）、SNS等を活用して図書館の使い方を紹介する「情報発信」を行うという意見（4件）がみられた。



(合計 37件)

■意見原文

Q1. 第 2 回のワークショップで話し合った、新しい図書館のサービス、機能、役割について、再度お考えを教えてください。

NO.	回答	意見分類キーワード
1	<p>図書の貸出だけでなく、市内外の人に伊賀らしさの発信ができ、活動の場・研修の場としての機能があり、人や団体の交流ができる場所があり、伊賀に住む市民の様々な活動の根幹を支えるような図書館。市内のどこに住んでいても、図書館に来られない方にも、公平に本そのものや、本の情報が届く新しい仕組みが必要ではないか、と思いました。</p>	<p>情報発信(伊賀) 情報発信(本) 活動・交流の場 公平なサービス提供</p>
2	<p>「みんなが集える・学べる・憩いの場」としての図書館が必要だと考えます。生活スタイルや貧富の差に関わらず、これら三つの要素(集う・学ぶ・憩う)をみんなに提供することが求められているのではないのでしょうか。</p> <p>① サービス面。電子書籍の貸し出し(学ぶ)、PC・タブレットの貸し出し(学ぶ)、郷土史の VR 体験(学ぶ)今後必要になるスキル(プログラミング・動画編集)を学習できる WS(学ぶ)、貸し出し図書の宅配(学ぶ)</p> <p>② 機能面。Café・Bar・イベントスペース・展示スペース(集う・憩う)観光コンテンツを有料で提供(図書館ならではの「実際の忍術書の内容をやってみる」・「古地図を使って街歩き(観光協会に既にアプリあるので、図書館らしさをプラスする)」等)(集う)</p> <p>③ 役割。まちなかに市民の憩いの場が無いので、芝生のような寛げる場(憩う)</p>	<p>公平なサービス提供 情報発信(伊賀) 情報発信(本) 憩いの場・居場所 電子化・電子機器の貸し出し</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 図書館を 年寄り ~若者~子供までが、それぞれの目的を持って集える場所にする。</li> <li>* 循環バスのバス停を作り、旧郡部からも、お年寄りや子供も来られる空間にする。</li> <li>* カフェスペース 外部委託も有り を作り、休憩スペースを設ける。 * 本を借りるだけでなく 本屋さんを巻き込んで 気に入った本は購入出来るようにする。</li> <li>* 伊賀市に縁のある文化、文化人、有名人の展示コーナーを作る。例えば、松尾芭蕉コーナーを作り、もっと見たい人には、松尾芭蕉の生家を案内する。忍者コーナーでは、忍者屋敷。榊莫山さんのコーナーでは、莫山さんの文字を包装紙にされている、お店を紹介する等 伊賀焼コーナーでは、直販所を案内など。</li> <li>* 図書館を観光スポットとしての、役割を果たせる場所に。お土産の販売も。</li> <li>* 各世代が利用出来るよう、ポイントカードや、アプリを活用する。利用内容に応じて、ポイントを溜める事ができ、ポイントでカフェスペースを利用したり、お土産や、本を購入出来るなど。</li> </ul>	<p>活動・交流の場 公平なサービス提供 電子化・電子機器の貸し出し 情報発信(伊賀) 観光拠点化 サービス拡充 (カフェの等スペース)</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽く飲食できる場所やお酒が飲めるようにする</li> <li>・読書スペースと勉強スペースを分ける</li> <li>・本について話し合ったりおすすめし合えるようなおしゃべりができる部屋をつくる</li> <li>・絵本や紙芝居の読み聞かせにも使えるような、小さな子どもたちが少し騒ぐくらいは大丈夫なスペースをつくる</li> <li>・伊賀市の特設コーナーをつくる</li> <li>・窓から見える景色にも気をつかう</li> <li>・目を休めるための仮眠スペースをつくる</li> <li>・図書館は歴史的建造物ということで少し堅苦しい感じがするけど、誰もが使いやすい、楽しく快適なスペースであるべきだと思います。</li> <li>・新しい図書館のサービスとして、ポイント制はいいなと思いました。 具体的には本を借りる、図書館へ行く、配信された記事を読むなどでポイントがたまり、近くのお店で使えるクーポン券と交換できるとかだと、図書館に興味をもってもらうきっかけの1つになるのかなと思います。また、伊賀の有名人の作品の近くにその人や物に関する本を置いたり、折り紙の本の近くに実際に折れるように折り紙を置くなど、読むだけでなく、実際に見たり、手を動かしたりできる体験型図書館だと魅力的に感じるとおもいま</li> </ul>	<p>活動・交流の場 憩いの場・居場所 情報発信(伊賀) サービス拡充 (カフェの等スペース) 知の拠点</p>

NO.	回答	意見分類キーワード
	<p>す。図書館が地域の人や同じことを考えている人、他年代との交流の場の役割を担ってほしいので、楽しく話せるエリアもあるといいなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無償で多様な考え方の本や情報を提供することがベースとしてある(図書館は市民の知る権利を保障する場でもある。誰もが利用できることが前提)。そのうえで、地域の知の拠点となり、地域の文化や世代、産業をつなげてまわす、あるいは興す役割を担うことが新しい図書館の姿だと考える</li> </ul>	
5	<p>【『新しい図書館』に望むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇図書館司書の待遇向上と増員をしてほしいです。</li> <li>◇潤沢な司書を背景に「課題解決支援サービス」を強化してほしいです。</li> <li>◇外国にルーツのある子どもたちが抱える課題解決支援にも対応してほしいです。</li> </ul> <p>【その理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇図書館は現在の利用者だけでなく、将来の利用者を視野にいれる必要があると考えるからです。</li> <li>◇人口減少による社会的資源の減少が進む中で、地域内で発生する課題を市民一人ひとりが主体的に解決していく局面が、今後 さらに 増えてくると思います。</li> <li>◇このようなニーズに図書館が真摯に向き合い、市民の成功体験 を後押ししていけば、自ずと「シビックプライド」が高まり、それだけでなく、市に大きな恩恵をももたらしてくれるような市民も出てくるものと考えます。</li> </ul>	<p>課題解決支援 その他 (人員の充実・環境改善)</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい図書館のサービスについて</li> </ul> <p>このワークショップの多数の参加者より、新しいサービスは、図書館に対する既成概念を飛び越えたところにあるとの意見が出ていた。最近の話題にのぼる図書館はまちづくりの核、なんでも相談できる図書館、子育て支援からビジネス支援までやってのける図書館が出てきている。</p> <p>上野図書館を考えるとそこまでやる必要があるのだろうか。市が縦割り行政に横串を刺すようなサービスが提供できるのか？今の司書がどこまでサブジェクトライブラリアンとしてサービスを提供できるのか？人材を採用できるのか？と思う。</p> <p>むしろ、既存サービスの足りないところを補うかたちで、新しいサービスを提供することができると思う。例えば、同規模自治体の平均、近隣の名張市、甲賀市に比べて、市民一人当たりの蔵書数が低いことを解消するだけで、新しいサービスになると考える。</p> <p>また、読書コーナーをインスタ映えするコーナーに設ける。椅子をデザイナーチェアにする。ちょっとしたアイデアでちょっと幸せな気分になる工夫から取り組んで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能について</li> </ul> <p>図書館には、利用者と本(情報)を結びつける役割がある。その役割を果たすための手段としてデジタルとアナログがあり、アナログは図書館というハコモノが必要となる。これは face to face の交流の場である。利用者と本(情報)、利用者と本(情報)を結ぶつける司書、利用者と情報をもつ人を交流させる場である。この基本は忘れないで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割について</li> </ul> <p>デジタルにより、世界のどこからでも上野図書館にアクセスできるようになる。忍者、芭蕉であれば、上野図書館に訊けと言われるようになることで、伊賀に足を運ぶ人が増え、市街地を活性化させる役割を担うことができる。</p>	<p>その他 (人員の充実・環境改善) その他(設備改善) 活動・交流の場 電子化・電子機器の貸し出し</p>
7	-	-
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でもふらりと立ち寄れる図書館</li> <li>・従来の図書館での集客以外で人が集まれる、毎日何らかのイベント(おはなし会・講演会)</li> <li>・コンサート・寄席・映画の上映などが開催されている。</li> <li>・子育て支援、託児</li> <li>・若者の居場所(テーブルゲーム・ボルダリング・楽器演奏のできる部屋)</li> <li>・就職支援、スキルアップ支援</li> </ul>	<p>活動・交流の場</p>

NO.	回答	意見分類キーワード
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・癒しの空間(イーजीリスニング・マッサージチェア・足湯・ロケーションの良い窓辺)</li> <li>・散歩ができる中庭・喫茶コーナー</li> <li>・ボランティアのミーティングルーム</li> </ul>	
9	<p>今までの「飲食はダメ」「話をしてはダメ」という図書館ではなく、飲食をしながら本を読んだり、会話のできる図書館にしていかなければならないと思います。建物に関しても、伊賀らしさを表現する場でなければなりません。</p> <p>窓から伊賀上野城のベストショットを見ることができたり、ドアをどんでん返しにしたり、オンリーワンの図書館にすれば、全国的に注目され、経済活性化につながると思います。</p>	活動・交流の場 観光拠点化
10	伊賀市を舞台とした映画のDVDを置いて欲しい。	情報発信(伊賀)
11	<p>私は図書館とは学びの門を開いてくれる場所だと考えている。義務教育で習うことをはじめ生きることに役立つことから、普段生活しては出会うことがない分野までカバーしてくれるので、非常に感謝している。しかし、利用する今の上野図書館では学べる範囲が狭い。都市部や先進的な図書館と比べると、やはり限界を感じる所は多い。ワークショップを通してイメージした交流型図書館はこれまで以上に市民の拠り所となりえることが想像できる。また、人と学び、人と人、人と地域など交流型図書館がそれらをつなげる1つの新しい選択肢となりえることを期待している。その一方で私は従来のサービスの素晴らしい部分を残したまま、それらのイメージアップを図りたいとも考えている。</p> <p>具体例を挙げるならば“レファレンスサービス”だ。最近、レファレンスサービスと司書の専門性のすごさを取り上げたネット記事を見て感動した反面、一般的にはいまいち認知されていないことにもったいなさを感じた。この事から図書館の持つ専門性を改めて見直し、市民に認知してもらうことは新しい図書館が目指す「つながり」を強く結ぶことに繋がられるのではないかと考えた。</p>	知の拠点
12	<p>横浜の方と思うのですが、大丸デパートの4Fに横浜初の図書館をつくられたそうです。デパートへの集客をはかるのに図書館に来られる方もまきこんでいく、交通、食事、買い物と循環していくと考えられたようです。その結果、2割の増客につながったとテレビで報じられていました。</p> <p>今、図書館は本を読むところ、借りるところという本だけで考えるという視点だけでは考えられない、人の移動の活発化→活性化→にぎわい、人が動く→動ける交通を考える(運転免許返上の人が増えてくる中)→動く→経済が動く、まわる→その中に中心となるものが図書館であっていいと思うのです。</p> <p>国からみて三重は地方、三重の中でも伊賀は端っこ、その伊賀の中でも私の住んでいるところは旧市内ではない。そして私は70才60才以上でいろんな地域で元気に活動されている方はたくさんおられます。</p> <p>しかし地域という狭いところに限られる。少し広い場所広い人の中で生きたい。体を動かすだけでなく、知をみたく、情報を得られる、絵や書、やきものなど文化に刺激をうけられる、そして同じ課題で活かしあったり、人とつながったり、講演をきいたりとその時だけでもいいので、人の中で生きているんだと感じられる生活をしたいと思うのです。</p> <p>ドーンと中心に「“伊賀”い性のある図書館」(新図書館の名前としても素敵賛成です。)をおき、巡回バス?循環バスをまわしてそこに集まる。(車なしでも暮らしやすいまちづくり)図書館の周りに、町に、ついでに買い物、ついでに食事、ついでに何か学べる。ついでにいろんな用事、ついでに公園を歩く、ついでにお菓子を食べて、そして、図書館でゆっくり本を読む。ながめる、そしてお茶。お店から提供してもらう。観光客だけでなく、チケットを持って、和菓子など食べ歩きたい。今月のおすすめの本、今週のおすすめの本など直接司書さんからすすめてもらう、お話をきけるコーナー、又私たち一般のものも私の好きな本コーナーとか聞いてください。私のおすすめ本など活かしてみたい、聞きたいコーナーなどあるといいな。</p> <p>住民と行政が協力して将来のまちのありかたを考える必要があると思いま</p>	まちづくりの拠点 知の拠点

NO.	回答	意見分類キーワード
	す。図書館内の施設等についてはみんなの意見をまとめた原案を出してもらい検討というか意見という機会をぜひ作ってください。	
13	-	-
14	<p>一、第一回目の図書館のイメージについて、一般的か上野図書館か区別していなかったので少し混乱しました。</p> <p>二、第二回は不参加でしたので不明です。</p> <p>三、意見        公民連携について「税」で運営する図書館ですので直営とするので本旨であると思います。        新図書館づくりについて、旧市庁舎跡を考慮しておられるのが、ファシリテーター上かなり負担が伴うことが予想されるため、庁舎跡の隣接地にある空地の利用が望ましいと考えます。</p>	その他(運営・施設)
15	<p>○「学び」や「知る」だけでなく、「文化」は「心のビタミン」美しく、市民が楽しく使用できる価値ある新図書館に。</p> <p>『創造発信の場』『いごちのよい居場所づくり』</p> <p>○ハード面        ・環境対応(ソーラー、CO2削減、省エネルギー、脱炭素化、環境持続性)        ・防災視点での充実や避難施設としての利用</p> <p>○文化香る伊賀上野の歴史や文化、自然、ゆかりある人「偉人」「現在活動中の人」等、資料、本、場所、人をつなげていく場としての総合的な役割(ほかの施設や部落との連携)</p>	環境対応 防災拠点 情報発信(伊賀)
16	<p>伊賀市の課題は、若年層の流出による人口減少。子育て世代や若者にとって魅力ある施設が少ない事。</p> <p>伊賀市の図書館に行けば「楽しい事、おもしろい事、時間潰しができる」という場所になればいいと考える。</p> <p>ワークショップで図書館へ行けば「忍者のこゝろ、俳句のこゝろがわかる！」そんな場所に。という話があったが、そのような高い専門性があれば特色があっというと思う。</p> <p>カルチャーセンターのようにいろいろな講座が毎日のようにある学びの場もあってほしい。</p>	情報発信(伊賀) 活動・交流の場
17	<p>新しい図書館のサービスとしては、今提供しているサービスをいろんな「知りたい」「見たい」「参加したい」「やってみたい」に繋がるものなれば良いと思います。</p> <p>例えば、(組紐について知りたい→作る体験→作ったものを販売→企業)(俳句について知りたい→俳句教室に参加→俳句の公募に応募→俳句の会に参加)(アウトドアについて知りたい→アウトドアの体験教室に参加→実際に挑戦)などです。</p> <p>そのために図書館で決まった曜日・時間にいつでも何かの体験企画を行うとよいと思います。</p> <p>また、税務相談や法律相談など暮らしの困りごとなどを気楽に立ち寄って相談できるような場所になればよいと思います。</p> <p>機能面では、移動手段が車になることが多い地域なので、多くの方にご利用していただくには、余裕のある駐車スペースが必須だと思います。</p> <p>また伊賀市は南北に広い地域なので、どこに住んでいても誰もが同等のサービスを受けることができるようにしてほしいです。(配送サービスの充実など)</p> <p>役割では、単に本の貸し借りだけではなく、楽しみや生きがいに繋がるサービスを提供していくことだと思います。</p>	活動・交流の場 その他(運営・施設) 公平なサービス提供
18	<p>図書館としての魅力は第1に本の充実が第1と考えます。</p> <p>老人→若い時に読んだ本の再読や、大きな活字の本、また落語など耳からの文化、美しい写真や絵の(本)が見られる等。</p> <p>仕事をしている人によって、違う種類の実用書、又、趣味の本、今テレビで東大生が選ぶマンガの本・・・大人も子供も参考になる・・・描かれている事は、たくさんの調査？聞き取り、取材をもとに事実が描かれているらしいです。</p> <p>ゆっくり読めば最適ですね。</p> <p>勉強をされている人は図書の間窓辺などで。</p>	充実した蔵書

NO.	回答	意見分類キーワード
19	<p>有ったらよいと思う事。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館(青山閉める所・・・有) ・レレブック ・乳幼児キッズコーナー</li> <li>・点字の本～対面朗読サービス ・学習室 ・外国語、人の学びコーナー</li> <li>・子供の学び(学習を覚えてもらう)コーナー</li> <li>・健康コーナー(高齢化 健康寿命) ・PC室 ・しかけ絵本 (本田血圧計+健康サークルの紹介) ・PC持込 ・忍者</li> <li>・松尾芭蕉コーナー ・足浴 ・CD DVD 視聴コーナー</li> <li>・榊山コーナー書画と「本」→紙の原点 ・サークル活動コーナー ・活動発表コーナー</li> </ul> <p>～本ができるまで紙すきや紙パックからの体験教室、紙パックの回収ポストリサイクルの仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ→両端(または屋上)に1つはドール等、1つは身体障害者が働く所</li> <li>・伊賀の紹介・・・鳥、キジ、花、ササユリ、木、アカマツ</li> <li>○産 水がおいしい→酒蔵 各温泉の場所と特徴 工業団地→企業案内</li> <li>いやしと足浴の協力 若者の将来の就職先 改修の協賛金</li> <li>商店街の紹介⇒地元のうまい「菜の花プロジェクト」・・・など</li> <li>○農 地産地消 ○林 製作所木工所「木の利用」床、壁へ</li> <li>建物・・・耐震性を確認。屋上の利用(眺望・・・お城を見ながらカフェと本。ソーラーで発電と蓄電 雨水の利用(トイレ))</li> <li>駐車スペースを広め確保し、災害時拠点となるよう端にベンチ(炊き出し釜戸に変わる)を設ける。</li> <li>○農・・・農業 ○林・・・林業 ○産・・・産業</li> </ul>	<p>サービス拡充 (カフェの等スペース) 情報発信(伊賀) 防災拠点 地域振興 公平なサービス提供</p>
20	<p>図書館周りの地域で上野は城下町にあることに目を向けて、発信するものには何があるのか、歴史、文化人、忍者、昔ながらの和菓子、お茶、お米、伊賀牛、組み紐等々たくさんあり、これらを図書館の中に小さな観光道案内地図とかのサービスも出来人が集まる。</p> <p>図書館を中心に機能、図書館を本と人との役割にもつながり、居心地の良い場所にもつながるのではと思います。</p>	<p>情報発信(伊賀) 憩いの場・居場所</p>
21	<p>図書館は、市民を育てて市民をつくり、市民を豊かにする役割を担っていると思います。</p> <p>市民にいろんなチャンスを与えるところです。又、伊賀市の記憶を後世に残すという大事な役割もあります。</p> <p>図書館サービスの民間への丸投げはやめてもらいたいと思います。</p> <p>図書館サービスは市街地だけでなく山間部へも等しく提供して頂きたいです。</p>	<p>まちづくりの拠点 活動・交流の場 公平なサービス提供</p>
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開架図書数が多く、総合案内(図書館コンシェルジュサービス)がある</li> <li>・施設内にカフェやレストランが併設されており、そこで本を読むことができる</li> <li>・芝生の庭(「扇ノ芝」の部分復元等)があり、そこでゆっくり本を読むことができる</li> </ul>	<p>充実した蔵書 憩いの場・居場所 サービス拡充 (カフェの等スペース)</p>

Q2. 自分ならどのように新しい図書館のサービス、機能、役割に関わることができるでしょうか。お考えを教えてください。

NO.	回答	意見分類キーワード
1	伊賀に住む人が、それぞれの環境・状況に応じ、新しい図書館のいずれかの機能に自ら関わる意識を持つよう、働きかけることはできるかもしれない、と思いました。	参画意識啓発
2	私は、自身で Youtube チャンネルを運営しています。(企画・構成・撮影・編集・SEO 対策・各種運営等)。 直接的にどう関われるか、考える必要がありますが、図書館として Youtube チャンネルを開設する場合の実運営をすることが出来ます。 また、動画の撮影や編集も出来るので、映像制作においても関わる事が出来ます。 また、以前総合物流企業にて、ロジスティクスのストラクチャーを作成し、物流効率化を行ったことがあります。 法令関係の整備が先でしょうが、貸出図書宅配業務の代行も行えるのではないかと考えています。	情報発信 図書館サービスへの 援助・参画
3	図書館内にキッズスペースを作り、読み聞かせグループも使える活動の場をいただきたいです。 * 日替わりで色々なグループ人が読み聞かせの会を開催して、毎週日曜日の何時は、ここに来ればお話が聞けると言う場所を作る。 * 大人向け読み聞かせの会が欲しいという声もありました。図書館でワークショップが開かれたり、生け花やお茶を教えてくれる、貸しスペースになったり、文化活動の拠点になったら、利用するのを楽しみたいと思います。	ボランティア その他(要望)
4	・図書館を盛り上げるために頻繁に行く ・ポスターをつくる ・ボランティアで読み聞かせに行く ・図書館まわりのごみ拾い ・今回のようなワークショップに参加したり、開かれる催し物に参加すること まずは図書館のサービスや機能などを知らないといけないので、自ら参加して積極的に関わることが大事だと思います。 Q1のほうで挙げた、交流の場という役割で考えると、自ら参加以外に友達にこんなものがあると伝えたり、誘ったりして、新たに交流する人を増やすことができると思います。 また、最近図書館に行っていなかったので、通うようにして、新たなサービスを知り、利用するでも関わる事ができると思います。 ・こんな図書館の使い方ができるようポを市民として発信する(SNS、ブログなど) ・本で遊ぶワークショップを保育園や幼稚園、学校や公民館などで開く ・定期的にビブリオバトル(ランチ de ビブリオバトルとか)や ABD 読書会を朝活でビジネスマン向けにやるなど読書の面白さ、楽しさを売りにした読書促進に真っ向から取り組むのもこれからは必要かなと思っています。	ボランティア 情報発信 図書館サービスへの 援助・参画 その他(要望) 積極的な図書館の利用
5	◇より積極的に図書館を利用していきます。 ◇より積極的に蔵書リクエストを行います。 ◇家庭内で子どもに図書館の活用法を指導していきます。	積極的な図書館の利用 図書館サービスへの 援助・参画
6	図書館法を見ていないので、どうだかわからないが、他班で発表されていた「企業が運営資金を出す」ことは、とても良いことであると考えている。 市民の図書館として個人の献金もありのファンクラブを作り、ニューヨーク公共図書館のように、市に頼らない公共図書館になれば良いなと考えている。 ファンクラブができれば入会し、運営にも参加したい。 また、高山市の図書館のように、観光客へのサービスも考えたい。街歩き、観光案内から、資料探しまで案内できるガイドをするなどの関わり方も考えられる。 予算がないのは良くわかるが、展示が雑なことが以前から気になっている、テーマ、内容は良いのだが、展示方法が残念でならない。展示のボラ	図書館サービスへの 援助・参画 ボランティア

NO.	回答	意見分類キーワード
	ンティアとかできるのであれば、ギャラリー運営や店舗、ライティングデザインの仕事をしていたので、少しはお手伝いできるのではと思っている。	
7	<p>1. 計画段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうなって欲しいなどのイメージを提案したり、違う切り口の意見を出させていただくこと。下記記載の各種思い付き事項(50項目)の提案、配置提案等(原文参照)</li> <li>・関連するPR動画の作成(素人レベルではありますが)</li> </ul> <p>2. 供用後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1利用者としてゆったりとした時間を過ごさせていただくこと</li> <li>・企業誘致に関するワークショップ開催(市民の求める企業像について調べたいため)</li> </ul>	<p>図書館サービスへの 援助・参画 情報発信 積極的な図書館の利 用</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの図書館は市民参加で図書館を作っていく、市民のための市民の図書館であってほしい。そのために設計から関わって意見を出し、工事などにも参加できる範囲で参加し造っていく。自分たちが作った図書館という事で親しみがわき利用しやすくなる。</li> <li>・従来の読み聞かせボランティアだけでなく他の面にもボランティアを入れ、イベントの企画や資料の整理・修理などもボランティアとして関わる。</li> <li>・図書館サポーター</li> </ul>	<p>図書館サービスへの 援助・参画 ボランティア</p>
9	三重県上野森林公園が「モリメント」というボランティア団体をつくり活動しているように、上野図書館でも積極的にボランティアを募集したらよいと思います。そうすれば市民の意見を取り入れ、地域ともつながり「みんなの図書館」となると思います。	ボランティア
10	建築学科に在籍中なので、旧上野庁舎のガイドに関わることができる。	ボランティア
11	正直なところ、交流型図書館が伊賀市にできても、関わり方は今までと変わらず本を借りるために利用するほかに考えが浮かびません。自分なりに考えてみましたが、より主体性をもって利用するなど、従来の使い方の延長にしかならないなと感じました。ワークショップに参加した時に感じたことですが、伊賀市の新しい図書館の構想がすでにあつたならば、そこに焦点を当てて話し合った方がより具体的に関わっているイメージが沸いたように思います。	その他
12	<p>このように問いかげられること自体、困った考え方、今までの中から出てきた考え、問いのような気がします。新しい図書館とは建物だけをさすのではなく、新しい発想により組み立てられた運営、活動をさすものだと考えていました。</p> <p>サービス、機能、役割も新発想のもとに考えていく。2回意見を聞いたから終わりではなく、新しい図書館から考えていく意見を出せるメンバーの中に入りたいです。市民代表として！！募集してください。これからの時代、伊賀市を考えていく時、そこに携わってきた人たちにまかせるのではなく広く深い意見を入れていってほしいと思います。そうしてできた新!図書館、“伊賀!!”に面白い楽しめるワクワク図書館活動にぜひ参加したいです。その中で私のできること私も楽しんで生きていける図書館活動、なんでもやります。</p> <p>2 回の話し合いの中で感じたことは今まで図書館に関わったことのない人たちが固定概念のない自由な発想で考える躍動感、面白さです。年齢に関係ない(若いとか高齢者で区切られない)新しい発想はそれぞれの人生や経験、考えの中から出てくる意見を、考えを出しあえたのは、とても面白く感じました。新しい図書館を考えていくうえで大事にしていきたいと思ます。</p>	<p>図書館サービスへの 援助・参画</p>
13	<p>1. 人物を通して、郷土の隠された魅力を引き出し後世に伝える「郷土の歴史夜話会」の継続。 自分の生まれ育った(あるいは今住んでいる)郷土を胸張って誇れることは素晴らしいことである。 半面、その郷土の誇りに気づかれないことは不幸である。 郷土愛の涵養(ただし、年齢的な課題もある)</p> <p>2. 郷土資料の提供</p>	<p>情報発信 郷土資料の提供</p>

NO.	回答	意見分類キーワード
	趣味で集めたものですが残す(保有する)価値のあるものもあると思っています。	
14	依頼があれば考えます。	その他
15	<p>・私は今現在上野図書館のボランティアとして「おはなしボランティアグループちいさなねこ」「布絵本お針子チクチク」として活動しています。小さなお子さんから高齢者の方までが遠慮せずのびのびゆったり、必要な所には防音効果やそれぞれ目的に応じた多目的室(空間設計)等、環境整備があればさらに積極的に参加でき、活動の幅が広がるように思います。</p> <p>・市民との協働を広げるため、図書館を支えともに発展させていく担い手としてボランティアを育成する事業(講座やワークショップ)の充実をはかり、ボランティアの養成をぜひとも積極的に行っていただきたい。</p> <p>・市内の図書館のネットワークとして中央図書館の整備だけでなく旧郡部の図書館機能が低下することのないよう、それぞれの特徴も生かす工夫もしていただきたい。(読み聞かせ時の選書には大山田図書館の存在はなくてはならない)</p> <p>☆充実した郷土資料の展示閲覧へのお願い</p> <p>・関心のある人が自由に手に取って内容を確認することができるシステムのしくみ(例 たえば名張図書館では少なくとも手に取って閲覧できる。不審な時は音が鳴る仕組みになっている)</p>	ボランティア その他(要望)
16	リタイアして時間はあるので、人手の必要な時に協力できる。 例えば、庭の草引き、講座の参加者になる、アンケートをとる、会場案内をする。	図書館サービスへの 援助・参画
17	モノづくりに興味があり、つくることも好きなので、自分の得意分野で何か体験の企画に参加できると思います。 また、図書館司書としては「知りたい」「見たい」「参加したい」「やってみたい」に関わることができると思います。	図書館サービスへの 援助・参画
18	まず本の検索ですが、本棚に番号をつけ、本(のシール?)に番号を。 分けたい種類に台番を、例えば歴史=1000番台、文学=5000 検索すると近くの棚がピカピカ、すべての場所を探す。 (詳細図は原本参照) 位置はパソコン画面上で100---2---13と出るだけで本人がメモしてすぐ探せると思います。 返却する館員さんの負担も減ります。 ちょっと腰掛けて読める椅子が点在していて欲しいです。机が並んでいても読みづらいです。	その他(要望)
19	新図書館のカウンターテーブル椅子等のサイズや配置などの相談は、ココヨの三重工場(私はパートなので)の営業と設計部署へつなげる事ができるかと思っています。 新図書館オープン後は、休日都合のつく時間には、本や雑誌を見たり学習室で勉強したり郷土(移住してきたので)資料やセミナーに参加したい。 また合うサークル活動があればぜひ参加したい。	図書館サービスへの 援助・参画 その他(要望)
20	既存の建物を利用しての図書館造り、新しく造るのと違い色々ご苦労や規制もあり大変なことと思いますが、これからの子供達50年—100年に向かって残す為の責任があります。 サービスとしては、多目的ルーム欲しい(例 おとうさん、若者たちの料理教室、発表の場、展示、福祉、講演会、若い親子、子育て、映画)等々人が集まり、図書館での待合場所、安心安全(時には災害の避難場所にも) またこれからは自分たちでお金を稼ぐ(例 ファミリーマート、スターバックス等への場所代を収入源とする) また、図書館で学生、子供達からお年寄りまで、お弁当を持参して食事ができるスペースもあつたらよいと思います。 自分は企画、計画を立てることに興味があります。 最後に今回住民の素晴らしいご意見がたくさんあったと思います。	図書館サービスへの 援助・参画 その他(要望)

NO.	回答	意見分類キーワード
	参考にしていただき上野の街にとけあう、行ってみたい図書館をお願いしたいです。	
21	市民が主役の図書館づくりを考えて頂きたいです。 行政と市民の対話で、市民の持つ力を借りて一緒に勉強しながら、図書館づくりを進めて頂きたいです。 図書館で働く司書さんや図書館ボランティアの人たちの意見を取り入れてほしいと思います。	その他(要望)
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土史関係のレファレンスサービスに対応することができる。</li> <li>・歴史講座や古文書講座など生涯学習につながるサービスメニューに対応することができる。</li> </ul>	図書館サービスへの 援助・参画